

2024年2月13日

各位

会社名 大塚ホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長兼CEO 樋口 達夫  
(コード番号: 4578 東証プライム)  
問合せ先 IR部長 小暮 雄二  
(TEL 03-6361-7411)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年10月31日に公表しました2023年12月期(2023年1月1日~12月31日)の連結業績予想を、下記のとおり修正します。

#### 記

#### 2023年12月期の連結業績予想数値の修正

	売上収益	事業利益	営業利益	税引前 当期利益	当期利益	親会社の所有 者に帰属 する当期 利益	基本的1株 当たり 当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円
前回発表予想(A)	1,985,000	300,000	245,000	250,000	192,000	188,000	346.44
今回修正予想(B)	2,018,000	312,000	139,000	142,000	125,000	121,000	222.97
増減額(B-A)	33,000	12,000	▲106,000	▲108,000	▲67,000	▲67,000	
増減率(%)	1.7%	4.0%	▲43.3%	▲43.2%	▲34.9%	▲35.6%	
(ご参考) (2022年12月期)	1,737,998	174,917	150,323	172,954	137,280	133,906	246.80

(注) IAS第12号「法人所得税」(2021年5月改訂)の適用に伴い、2022年12月期について遡及適用後の数値を記載しております。

#### 修正の理由

当連結会計年度の売上収益は、すべての事業セグメントで堅調に推移しています。特に、医療関連事業における持続性抗精神病薬「エビリファイ メンテナ」、抗精神病薬「レキサルティ」、V<sub>2</sub>受容体拮抗剤「ジンアーク」、抗悪性腫瘍剤「ロンサーフ」のグローバル4製品、およびニュートラシューティカルズ関連事業が業績を牽引し、為替の影響を除いても計画以上に推移しています。一方、当第4四半期において、アルツハイマー型認知症に伴うアジテーションを対象に開発中のAVP-786ならびに、その他の事業等における減損損失を約1,150億円計上することを見込んでいます。その結果、営業利益、当期利益および親会社の所有者に帰属する当期利益は前回発表予想を下回る見込みとなりました。

なお、2023年12月期の連結業績実績および2024年12月期の連結業績予想につきましては2024年2月14日の決算発表時にお知らせする予定です。

(注) 上記予想は本資料発表時において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は本予想額と異なる可能性があります。

以上